

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回宍粟市ごみ収集等手数料あり方検討委員会	
開 催 日 時	令和5年10月30日（月）午後1時30分～	
開 催 場 所	宍粟市役所北庁舎 4階 401 会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	委員長：福山千鶴、副委員長：落岩一生	
委 員 氏 名	（出席者） 宮脇昭介、落岩一生、中津恵美子、 福山千鶴、長田茂伸、多田千鶴子、 城下清美、春名堂司、廣井久美、 宮内よし子	（欠席者） 菅谷省三、井原達夫、井上由岐 子、土井景子
事 務 局 氏 名	宍粟市市民生活部 部長 森本和人、次長 西岡公敬、次長兼課長 榎木 隆、 副課長 大西常広、係長 雛倉 剛、 にしはりま環境事務組合 総務係長 岸根 潤	
傍 聴 人 数	1人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） ・意見書（案）について ・今後について	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	・説明用資料	
議 事 録 の 確 認	（委員長等） <u>委員長 福 山 千 鶴</u>	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開会
委員長	2. 委員長あいさつ
委員長	3. 検討事項 (1) 意見書(案)について それではお手元の意見書の報告案を事務局から読み上げながら説明させていただきますので、意見がありましたら、言っていただければと思います。この意見書につきましては、今までの検討委員会の中で、委員から出された意見を集約してまとめた形になっております。今から読み上げますが、その中でこういった意見が出ていないなど、ご確認していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
事務局	それでは意見書案を朗読させていただきます。 ～意見書(案)朗読～
委員長	今ざっと読み上げたのでなかなかすぐには理解出来ない部分もあると思いますが、今まで出た中で、こんな意見出たという部分があったり、ここはこういうふうな解釈じゃなかったかなっていうのがあれば言ってほしいと思います。
委員	下から2行目、「宍粟市一般廃棄物処理計画に掲げる目標に向け…」というところですが、目標は聞いていましたか。初めの段階で聞いてないことをぽっと挙げられると、非常に何かしんどい。
委員長	私もこれを読ませてもらって、1番最初に思ったのが、今、言われたとおりのことで、最初の会議のときに、このお話をいただいて、それも聞かせてもらった上で、いろいろ考えて意見出すのと、ただ、袋の値段とか、一般的なごみのことって、ぼんやり言われたことで、話を考えるのでは、やっぱり違う。これは1番最初の第1回の会議で「ごみ収集等手数料在り方委員会について」とあるこのときに、言っていただいていた方がよかったかなとは思っています。
委員	私らも1番最後の4回目のときにちらっとごみが、788グラムを700グラムにしたいというのは聞いたけど、ここに結びつくのは思ってなかった。あれと思ったのは確かです。1番最初に、この言葉なしに、最後で言われましたよね、ごみを788グラムから700グラムにするという目標をその時に初めて出てきたと思う。
事務局	議事録を確認しながら、この案をつくらせてもらいましたが、事務局としては、今出てきているのは、宍粟市の一般廃棄物の処理基本計画の説明がなかったというところかと思っています。話の中では、処理計画はどのようなものであ

<p>委員長</p>	<p>るということは、こちらのほうから説明させていただきましたが、処理経費、手数料、ごみ処理の仕組み、普及啓発を念頭に検討を進めていかなければなりませんというところは、当初の段階から検討することで理解いただけていると思いますが、この基本計画に掲げる目標に向け、というところの話ですね。目標に向けの後からのところで、書き方にもよりますが、この処理経費と手数料、ごみ処理の仕組み、普及啓発の検討を進めていかなければなりませんというところは、この意見書に入れてもいいと判断していますが、その辺はよろしいでしょうか。</p> <p>とにかく、私らはこの検討委員会自身が本当にどういう姿で、次に持っていくというのがすごく気になるわけです。ただ単に、会議重ねているだけで、次持っていくための市の姿勢というのがちょっとはつきり見えません。最終的に、これが来年度に向けての市の姿勢としてあって、私たちの意見も聞かれていたということですね。また、それが次にどう反映されるかというのがね、なかなかわからない。ただ回を重ねてただけで、次、この意見書でだけで、あとどうなるのかなというのが1番根本的にあります。</p>
<p>事務局</p>	<p>第1回に話が戻ってくると思いますが、このごみ収集手数料の検討委員会なのか、それともあり方の検討委員会かというところで、ここにあり方検討委員会ということになっております。今、行政としましては、ごみ袋に対して検討してください、料金に関して検討してくださいではなく、このごみ袋代が高いか安いかを検討する前に、このごみ袋代がどうやって決まっているのか、あくまでもこれは手数料で、手数料というには当然、その経費の歳入、歳出を、皆さんに理解していただかなければいけない。その中で、実際にごみ処理をしているにしまクリーンセンターにも視察に行ってもらったりして、こういう仕組みの中で、ごみは処理されているというところを勉強していただいた中で、この手数料のあり方全般について検討してもらおうということになっております。答えとしては、この手数料の検討委員会、在り方ではなく、今の手数料が高いか安いかだけ検討してもらおうという会議ではないと感じておりますので、その全般について検討してもらおう中で、意見についても、カッコ1から4まで、大きな項目に分けております。その中では、処理の経費について、手数料についてという項目、それと、3番でごみ処理の収集の仕組みについても、当然、今の状態がいいのかという意見もいただいております。最後には普及啓発、環境教育について、こちらから説明させていただいて、いやいやそういうことをもっと重点的に進めてもらいたいというような意見も出してもらって、こういうまとめ方になっております。ちょっとぼやっとしてしましますが、基本的にこのあり方の検討委員会ということで、今言った4つの項目についてこういう意見が出ましたよということです。その中に、多分皆さんが1番気にされているのが、このカッコ2のごみ収集等の手数料についてというところになってくると思います。最終的にここはいろんな意見が出たところでありまして、前回の話の中で、事務局もここをどういう風にまとめようと非常に悩みましたが、総体的にまとめると、カッコ2の手数料の1番最後ですけど、事務局案である少額の値上げで済むのなら理解できるかもしれませんが、5年後、10年後、将来にわたってのことを考えるともっと上げるべきではないかという意見が、この</p>

	<p>委員会の意見ということで今回取りまとめさせていただいておりますので、そこについても、事務局としてもどういう風にまとめるかというところは、非常に悩んだところでもありますので、その辺も本日話し合っただけであればと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>私が先ほど言ったことと今言われていることとは、ちょっとピントがずれています。今日はもちろんこの案に対しての意見であるのは分かっていますが、この案を上げてもらう、その前段階のことを今は聞きたかった。やっぱりこの会議を持った1番最初に、来年度基本計画が策定されるたたき台があって、でもそれ私らは白紙のほうが、話し合いするにはよかったから言ってもらっていないのか、どうなのかちょっとそこは分からないが、そういうことを聞いていたら、もっと効率的な話し合いが出来たような気がします。それは今さら仕方がないけど、やっぱり案の中で、さっき言われたように、この計画に掲げる目標に向けるところは私らにはそぐわないと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>今お話聞かせていただきまして、確かに来年度一般廃棄物処理計画を定め直しますが、今回このような委員会の中でいただいた意見、数字的なものに跳ね返るものもありますでしょうし、今後のステーションのあり方ということも入ってくる可能性もありますので、トータル的に、次回に生かす形で、一般廃棄物処理計画、次に向ける目標というような形で捉えさせていただきたいと思えます。</p>
<p>委員長</p>	<p>そしたら、私たちのこの意見が、来年度に向けて生かしていきたいという方針としてとらせてもらったらいいですね。私は、この14人の意見がみんなの総意ですっていうところまで本当の話、決まるものでも何でもないので、この意見をどのように次に持っていられるのかが1番不安な部分であります。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員長がおっしゃるように今回の意見を取りまとめる中で、計画の中に生かせるものが多々あると思います。本日まで5回開催して出た意見も、計画の中にも反映できるものもあろうかと思えますので、その部分も含めて計画に反映させていきたいと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>計画に反映していただくのはいいですが、ただ、この意見書の中では、下から2行目、来年度以降から掲げる目標に向けて、この委員会で進んだ状態ではないということなので、この報告の中からは、目標に向けてというところは省いてもらえばいい。それを行政でいろんな形で使われていくのは、それはそれでまた考えていただいたらいいのかなとは思う。分けてすればどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。そのようにさせていただきたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>この案を読まさせていただいて、私が思ったのは、最終的には、もうごみの袋代を上げます、上げてもいいというオーケーを出した形の提案書になっているのかなと思う。皆さんがそれで納得されるのであれば仕方ないかなと思えますが、前回の会議から今日までの間でちょうど10月で、インボイスの関係で袋</p>

	<p>代が上がって、割と私の周りの方の意見としては、袋が上がった、値上げをしたという印象を皆さん持たれているので、さらなる値上げというのはと思う。中の意見には賛同出来ませんと書いてありますが、最終的な終わりのところには、やむなしという表現になっているので、これはもう値上げありきかなという風に捉えられても仕方がないかなと思うので、その辺りちょっと、受け取った側は、もうこれで値上げオーケーと思われているのか、それとも検討というか、どちらの印象で思われているのかなというその辺がちょっと気になります。これを基に、もう値上げをオーケーとして進められるのか。それとも、やっぱり中の意見にある賛同出来ませんとか、検討してほしいとかその辺りも考慮していただけるのか。なにか、これだけ読むともうほんまに値上げします、値上げオーケーですという風に私は捉えてしまった。ただ、この10月の価格改定が、実質値上げと捉えられているので、その辺りはどうされるのか、そこがちょっと気になりました。</p>
事務局	<p>貴重な意見ありがとうございます。ここの取りまとめのところで、最終的には検討委員会を重ねる中でこの意見書を提出してもらおうということは必然ですけど、その中で、いろんな説明をする中で、抜本的な受益と負担の関係を是正するため、その開きがあったというところ、皆さん、歳入、歳出の説明で、ごみ処理の経費がたくさんあって、そのうち、それを補っている部分がこの手数料だけ、その金額が、年々上がっていく中で、この部分については、見直しがされていないままずっときているという説明もさせていただきました。その辺は、理解していただいているというところで、前回のときにも、本来、この委員会としてどういう意見をまとめようとしたときに、多分、今言われたような意見も出たと思いますし、総体的にはやむなしと考えておられるという感じでおりましたので、こういう風にまとめておりますが、この辺は事務局が誘導してこういう意見書を出してもらおうとは考えておりません。まとめのところはどういった書きぶりにさせてもらったらいいか、そういう多様な意見が出たとまとめさせてもらったほうがいいのかは、逆に、今日協議してもらえればいいのかなと思います。</p>
委員長	<p>本当にごみの出し方自身も考えたときに、袋代が少々上がっても、上手にごみを減らしたら、袋の枚数が減るから、そういう物の考え方もありかなという部分もある、私自身がね。だから、袋代は確かに上がるけど、ごみの出し方を考えたら、二つ出していたのを一つにする出し方をすれば、結局経費としたら、安くなっている。私はそういう根本的なところ、市民の人にゴミの出し方を考えましようっていうのは、最初から思っていました。この袋代を高くするとか低くするとかじゃなく、とにかく、ごみを減らすことを考えないといけない。ほんまに温暖化は、ごみの影響もゼロじゃないというのは、始めから思っているから、まず、根本的には、あり方をすごく強調してほしいなという思いがある。高くなる部分は工夫して、ごみをリサイクルへ回すと、ごみの袋で大を使うところが小を使うことによって、工夫ができるのではないかなというのも、私とすれば、市民の人に勉強してもらいたいのはすごく思います。自分も出し方がすごく下手なので、いろんな人の意見を聞いて、そんなふうにしたら、ごみも減るということ、実際たくさん勉強させてもらっている、そういう</p>

	<p>ことも皆さんに勉強してもらおう一つのテーマとして考える材料にさせていただきたいなと思います。だから、お金を考えるのであれば、もっと倍にしないといけないというのも、ほんまになきにしてもあらずやけど、毎日の生活に絶対要るものをぼんと上げられたら、いくら一生懸命ごみを減らして努力しても、経費は経費として要るのだから。これからのあり方を考える材料も含めて、ゴミ袋の値上げに負けないぐらいごみを減らしましょうっていう、その辺は一緒に皆さんで考えてもらいたいなと思う材料に私はしてほしいなと思います。この際、男性群にも特に言いたいと思います。いろんな場面において、女性はごみに関わっていますけど、男性群は、こうやって出て初めて関わった人がたくさんおられると思うので、これはもうみんなで作らなあかんし、自治会でもやってほしいなと思います。自治会ももうちょっと工夫したら、ごみを減らせるのにな、袋ばかり使っているなというところもあるので、本当に各種団体でごみを減らすことを考えないと、これからは困るのではないのかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ゴミ袋の価格改定ということで、10月号の広報に確かに載りました。ただ、お知らせ欄で、生活衛生課の電話番号も入れて13行。インボイス制度で変わりますよって。何かもっと仕方があったのではないかなという思いがあって仕方がないです。9月に聞きましたら、何で9月号の広報に載らないのって言ったら、いや10月号で予定していますということで、10月号で予定しているのがこのお知らせ欄のこれだけというのは非常に残念でね。ただ、今後もそういうふうなスタンスであれば、こうやっているんな形で、委員さんによってもらって、こうしてきたっていうのが、非常にみんながっかりして、次、呼ばれても、絶対出ない。そんな思いを持つのではないかなと思います。非常に身近な問題なので、もっとPRの仕方、普段の広報の仕方があるだろうと思う。ただ、やっぱりそれが、ちょっと一般的に、男性の方があんまり知らないみたいな各家庭においてはそういうこともあり、課題なのかなとは思いますが、ただ、それだけ値段が上がるのになぜ事前に言わないのと言ったら、的確な答えがなかった状況は、今後も続いていくのかなと思ってしまいました。</p>
<p>委員長</p>	<p>私も実際の話、広報を全員が見ているとは言いませんけれども、広報にごみを減らす方法などをシリーズ的に出すのも一つの方法かなと思うし、前にも言いましたように、広報だけに限らず、ごみの出し方で、ちょっとピックアップできるものを全戸配布してもらおうぐらいのことはしてほしいなと思います。皆さんが今、している中で、一戸に1枚ずつ配るようなこと、ほんまに簡単なのでいいから、そういうのは一つの資料として、全戸配布することをしていかないと、始めから来年の査定が始まるからごみ減らしましょうなんて言っても、普段から前もって下準備しておかないと、意識にはつながらないかなと思います。それとインボイス制度もここに来て初めてインボイスという言葉を知って、勉強させてもらいましたが、皆さんおっしゃるように、ゴミ袋値上がりしていたねというみんなの意識は確かにありました。計算上こうなったと説明してあげて、初めてそうやったのかと。だから、みんなただ単に、何か分からないけど上がっていたなど、ほとんどの方がそうじゃないかなと思います。税金のことをよく知っている人以外はね。広報に小さくインボイスの関係で値段が上がりますとお知らせに書いてあったのは、本当にすごく残念に思いました。</p>

事務局	<p>現在、毎年 12 月号に、ごみの収集と分別であるとか、現状については、2、3 ページを使って特集しています。今言われたシリーズ化につきましては、そういう意見をいただいて、今後検討していきたいと思う。その周知方法については、そういう意見が出たということで聞かせていただきます。</p>
委員	<p>今日の会議は、結局意見書案についての意見ということですよ。そうすれば、今言われたように、やむなしと考えて、全員賛成しているかのような印象を受ける文章だったらちょっとどうかと思う。前ページの上のほうに、物価等が上昇する中でこのタイミングの手数料改定には賛同出来ませんと上がっていますが、そこで上げるのではなくて、そういう意見もあるけれども、改定に取りかかる方もやむなしと考えますということで、改定には賛同出来ませんっていう意見はこんなところでぽつんと入れるのではなく、同じ近いところで入れてもらって、そしたら全然印象が違うと思う。</p>
事務局	<p>文章の書き方を今ここでお示しは出来ないですが、今確認してもらいたいのは、先ほどの分、やむなしというところだけではなく、その前段として、反対とするような意見もある中で、手数料の改定に取りかかる方向もやむなしと考えますというふうに、直させてもらおうとは思いますが。この委員会の意見として、改定に取りかかる方向もやむなしというのは、委員会の全体の意見としてこの間の会議の中で、事務局のほうは感じておりますが、その辺はどうですか。そこだけちょっとご確認してほしい。この方向もやむなしというところ自体が、まとめられないかどうかは、事務局の気持ちでも何でもないで、この間、意見が出た中で最終的に議事録を見ながら、まとめさせてもらっております。</p>
委員長	<p>しっかり言ってくれる人が今日欠席というのがちょっと残念ですけども、2 択とったら反対ですとはっきり言われていましたから。他の人がいくら丸と言っても、2 人は反対なわけですから、難しいですよ。中間の人はやむなしですけど、難しい言葉やと思います。</p>
委員	<p>大方の意見としてとられて、やむなしとなっているけど、採決取ってまでしたわけじゃないからやね。だから、そこでやむなしだけでも、やむなしの言葉に全て含まれていると言われたらそれまでですが、やっぱり人は何でも解釈の仕方が違うので、そこで、誰もがやむなしというその言葉どおりにとれるような前後の文章が欲しいなということです。</p>
事務局	<p>この委員会では、まず総体的なごみの処理のあり方も含めて、手数料も含めてのお話をいただいておりますけども、委員会として、ごみの手数料だけでいえば、賛成か反対かという決をとるような委員会ではないので、トータルの話を皆さんに聞いていただいて、宍粟市は合併してからも改定されてないということとか、あとごみ処理の経費がどうなっていくのかとか、そういったトータルの話の中の一つとして、このごみ袋の改定の話がありますので、そういった捉え方でまとめていくべきだと思います。反対、賛成というような中で委員会ではありませんので、その辺よろしく願いいたします。</p>

委員	<p>2ページの2番のごみ収集等手数料についてのところの下段ですけど、ごみステーションの数、受益者数、立地などの宍粟市特有の収集問題を聞き、ごみステーションの集約による経費削減を望みませんって言い切られるとちょっとおかしいし、いやです。やっぱりどんなことでもいろいろ工夫して、経費の削減は、今からの市の状況から考えて臨まないと仕方がない問題なのに、この委員会が望みませんよということは、私は反対です。仕方がないとか、減らしたくないとか、それは言いますよ。だけど、ここまで言い切られるとあかんと思う。それともう一つ、1番上のごみ処理経費の袋のことでもそうです。いろんな安い袋もあるけど、宍粟市としてはこれがいいといっても、この中でも、もう少し安い袋でもいいのではないのかっていう意見もあったわけなので、ここも一緒です。袋の仕様を変える必要はないと考える。そこまで言ったら、ちょっと違うかなという気がします。</p>
事務局	<p>このイメージですけど、この2番の意見というところは、基本的に個々の委員の意見を含んでおりますので、こういう意見が出ましたよということになります。1番最後のおわりにというところが、この委員会の全体のまとめとして構成されております。まず1番最初の1、始めるというところで説明させてもらって、2は、こういう意見が出ましたと。なので、これを読んでいただくと、相反するような意見もこの中にたくさんあります。それで先ほど言われました袋の仕様を変える必要はないと考えますという意見も出ておりましたので、ここでは意見としてまとめております。</p>
委員	<p>ただ意見と書いてあれば、この会議の意見という風にとる人が多いと思う。個人の意見とするならば、個人の意見と書いてもらわないといけない。ただ意見だけでは、この会議の全体的な意見という捉え方をするとと思います。</p>
委員	<p>今、皆さんが言われているのは本当に理解できる。この意見にしても、誰も回答を聞いていないわけです、どういうふうにするか。それが不安になってしまって、一つ一つのこと違うのではないかと、いろいろなってくるので、この策定を何月までにやって、何月以降も、皆さんと一緒に活動してもらいますよということはあるのでしょうか。また、その回答も出るのでしょうか。</p>
事務局	<p>この分につきましては、1番最初のところにありますが、委員長の名前で、市長に手数料のあり方を検討したのでこういう意見が出ましたという報告をさせてもらうだけで、その回答はないと思います。こういう意見が出たので、それはこうしますというような。そのあとの判断、今後、ごみ収集等手数料を、最終的には市民の方々に検討してもらう中で、ごみ袋の手数料が高いか安いかわという答えをいただきたいというところはありますが、それについては当然、何を基に高いか安いかわ、今の状況を話し合ってもらった結果、市民からはこういう意見がありましたと委員長から出してもらうだけなので、それを市とすれば、今後のいろいろな計画などの参考にさせてもらうということです。</p>
委員	<p>ちょっとそれでは言葉は悪いですが、うだうだ話みたいなことになってしまっ</p>

	<p>て、理解がしにくい。これが前に活発に意見出たその金額の提示、それを5円上げれば何パーセントのカバーができるよということの説明もありましたし、そういったことが有効になるならば、致し方ないなというような雰囲気でおったかなと思うのですが、いろいろこの意見書を読んでも、一つ一つがぼやけてしまって、こうするべきではないとか、文言が非常に少ないかなと思う。業者間とのやりとりもあろうかと思いますが、業者の手数料を低くするというようなことも書いてもらったほうがいい。そういう意見も出ていたと思うので、そういったことも書いてもらわないと、やっぱり上へ上がって、ぼやけたような文言でこうやということになってくると、取扱いが雑になるのではないかと感じたりします。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほども言いましたが、この前段の2番の意見のところについては、議事録などを確認しながら、例えば、カッコ1のごみの処理経費について、ごみ袋としはりまクリーンセンターとステーションという、この三つに分けさせてもらっていますが、このごみ袋についてはこういう意見が出ましたという取りまとめ方にしておりますので、こういう意見もあったのでここに盛り込んでほしいということは、言っていただければ、議事録を参考にして、そういう意見が出ていたということであれば、取りまとめさせていただきます。今言われたその業者のというところは、カッコ3のところですかね。</p>
委員	<p>私ももう一度整理しなければいけないかもしれないですが、ごみ袋が5円上がれば、これがカバーできるよという頭しかない。それがごみ手数料につながるというイメージがまだ、ごみ袋だけ上げたらいいいのかなという意味合いにとってしまっていた。この文章化されたときにごみ手数料となると、大きくなってしまってちょっと意味が捉えづらいついいうか、そういう面があつて、もう一度整理し直します。そういった状態です。</p>
委員	<p>2回目あたりで、いくらごみ袋をアップしても財政効果は低いということは聞かせてもらっている。事実そうだと思う。そしたら、ごみ袋の値上げをすることが市民にどういつい印象を与えるかということが一番大事と思う。ごみ袋の値上げをきっかけにして、ごみを削減することをアピールしていかないと問題が解決していかないと。それがクリーンセンターの話になると、ごみの減量をしても大して経費の削減にならないと書いてあるが、本当にそうなのか。あまりそんなことを言うと、ごみを削減する意味がなくなつてきて、市民もしんどくなる。私的に話を聞いて財政のことを考えると、馬鹿みたいに値上げしないと意味がないわけで、この市の提案する金額では全然解決しない。結局、ごみ袋が高くなつて、ごみの省力化をしなければならぬなという啓発事業と両方合わせてやつてごみを減らすということが最終目的と思う。今までの4回で、啓発事業の意見もいくらか出ていたので、その辺も事務局として重く捉えてほしい。</p>
事務局	<p>私は今にしはりまクリーンセンターに出向してついで、この文面をみましたが、ごみの処理量全体ですね、各市町の案分で、ごみの量で割りますので、宍粟市のごみの量が減れば、もちろん宍粟市が今40パーセント強ですが40パーセン</p>

	<p>トになれば、その分経費は削減にはなりませんので、このままごみを減らしても全く関係ないという話にはならないという点をご理解いただけたらと思います。</p>
委員長	<p>そしたらやっぱりごみを減らすことが経費を減らすには1番いいわけですよ。その経費を減らしたことによって、税金を投入する分が減るわけですよ。</p>
事務局	<p>はい、そうです。ただ、各構成市町で佐用、宍粟、上郡、たつの市新宮ですね、四つあって、その中で、経費を100とすれば、宍粟市いわゆる何パーセント負担するのかという話になって、上郡町が逆に増えた場合は上郡町の負担が大きくなるという計算方法で、協定のほうがあります。減らしていただくこと自体は、もちろんごみの量ですのですぐに結果が出るわけではないですけども、いずれ負担金の精算がありますので、効果は間違いなくあります。</p>
委員長	<p>人間お金に関係しないとはっきり実行に移さないのが世の中です。ゴミ袋が有料になった途端にマイバックを持ったのと一緒で、結局、5円10円上げるよりもごみを減らして、税金の投入を減らす方が経費として減るというのか、たとえ5円10円でも上げて、そっちを助けてほしいというのが先か、その辺が理解出来ない。前に言われたみたいに、今のところやったら、袋を値上げしても焼け石に水、ごみを少々減らしても今払っているお金が、あんまり減らないと言われたら、一体どこを目標にして私たちは市民活動したらいいのか、ちょっとだけまだ私は理解出来てない。やっぱりお金の換算して目に見えないとなかなか人間行動がしにくいので、そこのアピールがなかったら、皆さん多分行動に移せないと思います。</p>
事務局	<p>今いただいたところをどういうふうに整理しようかと思っています。基本的にこの終わりの部分の4行目、抜本的な受益と負担の関係を是正するためにと、だからこれではないですよというところが、もうこの委員会の中では認識されているということで、ごみの減量化、再資源化を進めていくためにもやむを得ないという意見があると捉えさせていただいたらいいのか、ここの部分になってくると思うのですが、どうでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどから聞かせていただいています。意見のところ、これにつきましては、この委員会での意見ではないですよという部分を少し入れてもらったらいいのではないかと。これは各個人の意見ですよということ。それから、まとめのところのやむなしと考えるというのは、前回4回のときも多々意見がありましたけれども、事務局から明快な答えがあって初めてやむなしなのです。こうだからこう上げますとかいうような、何か答えがないのにただやむやに、やむなしと個人の意見ですけど、やむなしと考えているのではない。料金を上げることが仕方ないにしても、仕方がないのなら、なぜ仕方がないのかという回答をもらいたいというか、それがないと、やむなしとはちょっと言いがたい。前回4回のときもそういう意見が多々あったと思います。</p>
事務局	<p>こちら側から1回は改定案として、料金の提示をさせてもらって、それをたた</p>

	<p>き台に、1番最初手数料を考える中で、委員会から宍粟市が考えている案を示してもらいたいということで、そのときにはこういう案がありますと三つほど提示させてもらったと思います。そのところについて、第4回の時にいろいろな意見をいただいた中で、この間まとめてもらったものがここに書いてあるのですが、改定に取りかかる方向もやむなしと考えますという方向でまとめたのかなと認識をしておりましたので、こういう書き方になっています。このところは先ほど言いましたように、受益と負担の関係を是正するためにやむなしなのか、そうではなく、ごみの減量化、再資源化に努めていく中で手数料の改定に取りかかる方向もやむなしなのかというところは、この委員会としてどちらの方向でまとめていただけるのか。市としては、この受益と負担の関係を是正するために、今回改定に取り組もう。市民の代表とすればやむなしじゃないかなという回答でまとまっていたと認識しておりました。</p>
<p>委員</p>	<p>事務局の言うように、大体そうだったと思いますが、ただ、その料金上がる方向での、やむなしみたいなことになってしまっていたような雰囲気だったので、それはちょっと違うかなと思う。もしそうであるならば、かちっとした、僕たちも委員として責任がありますから、僕らが一般市民の方々に回答できるものを、何か用意していただいたらありがたいかなと思っておりました。それから、これは意見ですから、もう一つこの来年の基本計画のときにも各種委員が集まられると思う。そのときに、私たちのこのあり方検討委員会の意見はこうですよと資料として出されると思いますが、料金上がることがやむなしではなく、とにかく意見としてこういったいろんな意見がありましたよというだけの提出の方法でしたらいいのですが、まとめとなり、こうですよということになると、この検討委員会でのまとめになりますから、今日は欠席者が多いので、出来たら皆さんのご意見を集約して、出していただいたらありがたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>すごく集約しにくいと思います。みんな考え方が違うから、ごみを減らすことを考えたら、経費はそんなにいらぬのではないかな。その分、袋が上がろうと、それを自分が工夫したらいいという人もいるし、いや、絶対この値段でいきますと切り切れる人もあるかも分からない。だから、自分がどの辺の思いかも、みんな計り知れない。実際私にしてみたら、本当にこれだけの仕事してもらって、手数料だけでしてもらっていると思ったら、少々上がっても仕方がない。でも、その分は、自分のごみを減らすぞという意気込みの人と、なぜ次から次に上げるのかという人と、もう本当に心の中みんな違うと思う、14人ともね。私はやっぱり、少しでも経費の補助になるのならば、このぐらい上げて、5年10年先やら、こんだけ上げたところで、どれだけ市の財政に、私たちが、加勢できると言ったら、何かクエスチョンマークがある。その辺は、自分としたら、ごみの出し方の工夫と、経費はそういう意味で少しぐらい上げてええかなという思いを自分自身は持っている。でも、みんな思いが違うから、なかなか一つには出来ないし、2択にはしてほしくないって、しっかりと意見も聞いている。</p>
<p>委員</p>	<p>会長さんが言われたように、もうそれは、人の考え方は様々ですので、どれが正しくて、どれが間違っているってことはやっぱり言えないと思う。それで確か</p>

	<p>前回の話で抜本的な受益と負担の関係を是正するためにこれはやむなしというふうに、たしかそういう結論だったような気がします。反対意見ははっきりありました。だから、ここの意見というところで反対意見もたくさん書いてくれていた方がいい。それだけ検討しましたということがよく分かると思う。それでもこういう方向に向かいましたっていうのと、あと、この委員会を何回かするうちに、ごみ袋代を上げたからって市の財政がすごく節約になるわけじゃない。だけど、今言ったように、今 SDGs にもなっていますが、これから先環境問題とか、そういうことを考えても、ただごみを捨てるのではなくて、リサイクルできるものはリサイクルする。これから、私らの課題は、収集手数料あり方検討委員会だから、そこまでは踏み切れないのかもしれないけれども、こういう話をしている中でこういう新しい意見が出ていますということを出長に伝えていただく会だと思えるので、それをプラスしたらいい。この会議をしているうちにこんなごみの節約の仕方とか、分別の仕方とか、そういう教育をしっかりとしてほしいっていうことをプラスしたらいいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>それとここの課だけの問題ではなく、結局は、排水とかもろもろも関係してくるから、市の考え方として、ここだけに一任するのではなく、ごみ一つにしたって、きれいに洗って出せば排水は汚くなるし、だから、その辺が、環境問題を踏まえてごみをどう減らすかという根本的なところは、市とすれば、一丸じゃないと駄目だと思います。市民は全部ひっくるめてだが、市の姿勢とすれば、いろんなところと枝葉を引っ付けて考えないといけない問題として提案したいなと思います。そして、お金の問題でごみ袋の手数料ありきをやむを得ないというところをどう表現するかですよ。</p>
事務局	<p>そこのところもですが、先ほどから説明させてもらっていますこの意見のところはいろんな意見なので、必要ないと考えますと言い切っている意見が、この取りまとめではそういう言い切ったところはないですけど、ここはこういう意見が出ていましたと羅列していることは、皆さんご理解していただきましたか。</p>
委員	<p>それが、分かりにくい。2. 意見ではなく、そこら辺はもうちょっと工夫してもらいたい。ただ、2. 意見であれば、この委員会の意見になるということ。だから、技術的な書き方の問題です。</p>
事務局	<p>意見のところの書き方だと思いますが、ここは単純に、委員の主な意見というような書き方にすれば、委員が何か言っているというのが分かると思う。</p>
委員	<p>委員の各意見がと、少し言い方が下手ですが、何かそんな感じで、こんな意見もありました。そしたらその中に、本当は、そっちのほうばかりを言いたいだろうけれども、いろいろな意見が出た中で、もう絶対値上げ反対という意見もあったということも挙げて入れるほうがいい。</p>
委員	<p>先ほどから委員長が言われている、出し方の工夫とか、そういう部分も載せてもらって、その上でということをしていただいたら、やっぱり理解も得やすい</p>

事務局	<p>というか、印象も変わってくるのかなと思いました。</p> <p>それではこの2番のところを単なる意見ではなく、委員から出された意見がここにまとめられているということをもう少し分かりやすいように、体裁を整えていく方向でよろしいですか。当然、これは意見書として市長にも提示させていただきますし、市長には、委員からこういう意見があります、そんないろいろな意見が出ているということも分かっていたいただきたいので、先ほど抜けていた点も、もし、今日読んでいただいて、いやいや、こういう意見もちゃんと、市長に伝えてほしいというようなことがありましたら、また、この場で言うだけだと思います。いろんな意見をまとめる中で、全部の意見を羅列するわけにはいかないのです、どうしてもこういう分類してまとめてやっているので抜けているところもあるかもしれません。1点は、委員長が言われた環境施策のところですかね。</p>
副委員長	<p>前回欠席していて、最終的にこういう意見になったということは、会議録をまだ最後まで読んでないので分からないですけれども、やっぱりこの検討委員会ということで、いろんな意見が出て、検討したという中で、この意見書というのはまとめたいな格好になろうかと思うのですが、今までとった会議録があるので、これも、例えば市長に出す場合は、附属資料として、つけていただいたら、この委員会でこんな意見が出ましたよというようなことも、全部分かると思う。その辺まとめだけでなく、意見書の附属資料として、出していただいたらと思う。会議録には全ての委員が述べられたことが書いてありますので、その辺も市の方で理解していただいて、来年、一般廃棄物の基本計画の見直しがあるかと思うので、その辺に取り込んでいただけたらと思いますが、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>会議録につきましては、皆さんにも、当然市長にも報告しています。市長も目を通していただいていると思いますので、資料として提出するときには、会議録も会議の方向をまとめたものだというような方向で、委員長も市長に提出されると思います。その辺は逆に委員長にお願いしたいなと思います。</p>
事務局	<p>今日、いろんなご意見をいただく中で、この場で取りまとめるというのはなかなか難しいと感じております。それで、この後次回のところを説明するつもりでしたが、意見書の案の手直しにかかりますので、次回開催するまでに、ちょっと今回は木曜日に発送したものがどうも、今日になって届いている地区があるようなので、もう少し早めに送らせてもらって、次回、もう一度この場を持って、確認させてもらおうかなと思ってはおりますが、それでよろしいですか。</p>
委員長	<p>私、今のみんなの意見ですごくうれしかったのが、この会はみんな本気で、最終的に言うてくださっていると思う。やっぱりみんなが本気だから、本気で伝えてもらったり、広げないと、私たちが集まった意味が全然ないので、ただ単に市民の声を一部の者が言うて発言したじゃなく、今、本気の声がすごく聞こえたので、このパワーを住民まで届くような方向をしっかりと向けてほしいなと思います。</p>

事務局	<p>確かにこの文章を上手にまとめなあかんというところがあって、今言われるような思いが伝わっていなかったところは思いましたので、それで、今何件か言われたところにつきましては、チェックをしていきますが、これを何回も繰り返すととなると延々と終わらないので、できれば、今日、出席されておられる委員につきましては、今見ていただいた中で、ぜひ、こういう風にしてもらいたいとか、つけ加えてもらいたい、削ってもらいたいとかいうところがありましたら、できるだけ言っていただければ助かるのですがよろしくお願ひします。</p>
委員	<p>今、言える人もあると思いますが、これ持ち帰ってから言える人も出てくるかなと思うので、二、三日でもいいのですが、余裕をもらえないかなと思います。もし、必要であれば、ファクスなり電話なりで受けてもらえるようなことが考えられませんか。</p>
委員長	<p>特に若い方がお休みなのが気になるし、結構シビアに意見を言ってくださっていた。自治会長2人もお休みで、その辺の声もしっかりお聞きしたいので、連絡して確認してほしい。</p>
事務局	<p>要するにこの最終案をまとめるまでに、この場で聞くのもあれやし、だから、もうちょっと期限をもってというところで、どうでしょう。</p>
事務局	<p>5. 次回開催日 次の回、部屋の関係で押さえているのですが、11月30日、約1か月後に考えています。それで、また皆さんのご意見、今日お休みの方も含めていただいて、また、案を新しくつくって、新しい案に対しても意見をいただけるようにしたいと思います。1か月後の11月30日をとっておりますので、事務局から次回の会議の提案とさせていただきます。</p> <p>～出席者で2名都合悪い～</p>
事務局	<p>今回のこの後について、取りまとめる期間というか、意見を出してもらい、ここまで言ってくださいというところは決めておきたい。そのあとそれを集約して、最終的な案をつくらせてもらうという期間を入れると、11月30日はちょっと厳しいという感じになっております。ですので、次の日程は、最終的には皆さん出席できると言わないですけど、委員長と相談しながら、日程を決めさせていただきますので、取りあえず、今日決めておきたいことは、皆さんに意見を、ここの部分について、もう一度見ていただいて、ああいうことが足りないとか、こういうことを加えたらいいのではないかということを書いてもらう期間をどれぐらいにしましょう。切りのいいところで言いますと、1週間後の11月の6日、今週は3日の金曜日がお休みになってしまうので、6日までに出してくださいということでご案内させていただきますので、それぐらいの期間があれば大丈夫ですか。今日多分、この意見書案を初めてみた委員がほとんどだと思うので、どうでしょう。</p>

副委員長	提出方法はどのようにしたらいいですか。11月3日は一宮のふるさと祭りがあ るので、自治会長は非常に忙しい。6日までとなると、郵送だと間に合わない ので、できればファックスでお願いしたい。
委員長	コメントとしてファックスで送れるならファックスで送ってもらって、理解で きないところは確認していただく。
委 員	意見書ですけど、今まで会議があって議事録がありますよね。その中で抜けて いる部分があると思う。その部分で、これはぜひ上げてほしいという要望の意 見書なのか、それとも、この会議では話し合っていないけれども、今からでも自 分の意見を、意見として載せてくれるのか、それはどっちでしょうか。
委員長	ここは各々の意見ということになるから、私は絶対入れてほしいという意見が あれば、上げてもらったらい。各々の意見として入れてくださいということ で、今私は理解したから、もし、それが反対だろう何であろうと。
委 員	そうじゃなくて、議事録の中で話し合った分はオーケーだが、載ってない部分、 ぜひ載せてほしいじゃなくて、この議事録で話し合っていない部分の意見は受け 付けられないということではないですか。
委員長	これは、あくまでも事務局がまとめたものだから、でも、私は、この部分が、 やっぱり絶対に伝えたいというのは、言えればいいと思います。あくまでも、事 務局が、この程度がみんなの総意かなという形で上げてくれているが、発言し た者にしてみたら、ここもちょっと言いたかったなという部分もきっと、今読 み返したらあった方もあると思うので、そこは頑張って言ってもらったらい と思います。
委 員	新しい意見を言われるのはいいですけども、それであればやはり委員会とし て開催した中で言うべきではないかなと思います、一旦はね。でないと、取り まとめがつかないという思いがあるので、次回、そういう時間をとるのであれ ば、別段構わんとは思いますが、今まで言っていない意見を、これもあったん ですが、というふうなことで入れ出したら、收拾つかないかなと思ったりしま す。
副委員長	要は、この意見に対して、ここはこうやというような、今までの会議録がある ので、それを見ながら、ここはこういうふうに訂正してほしいとかいうこと でどうか。
事務局	イメージでは、今まで4回開催された中でいろんな意見が出ているところをこ こにまとめたつもりです。その中で、まとめきれていないところであるとか、 二つ三つ同じような意見が出たことを同じような言葉で表現しているつもり ですが、こっこの部分については、こういうつもりで言ったというのであれば、 それは議事録にそういうことが載っているかどうか確認させていただきます。言 い忘れていたけどということ、今回意見をもらったので追加するというの

	は、やっぱりこの場で意見を言っていたきたいというところがあります。
委員長	それを言ったのは一応出してもらって、最終的に、次回仕上げの部分で承認されるわけですね。ということは、もう1回そこで一応確認事項としては、もう1回、できる場があるのではないかなと思ったからです。
事務局	それを、この第6回目のときに確認はさせていただきますが、そこに載せる意見について何でもありということにではなく、基本的にはこの委員会の中で発言されたことを中心に取りまとめたいなと思っております。ご意見はファクスでも市民局を通じてでもよろしいので、いろんな方法でできるだけ出していただきますようよろしくお願いいたします。
委員長	本当に今日1番皆さんの思いをしっかりとってもらったのではないかなと思うので、次回のまとめを期待しております。
事務局	期限は11月6日でよろしいですか。こちらも取りまとめにかかっていますので、期限を決めておかないといけない。
委員長	今までも大体1週間ぐらいで会議録の訂正をお願いしますとしてきたと思う。だから、その形でいいかなと思う。自分自身もやっぱり期限決めないと、どうしても動きとれないから、1週間あればいいかなと思いますが、いかがでしょうか。自治会長さんは、行事を持たれているので厳しいと思いますが。
事務局	ファクス番号は、「0790-63-3063」になります。生活衛生課のファクス番号です。
副委員長	何時でもいいですか。
事務局	はい、何時でもいいです。
事務局	それでは、次回の開催日は決定に至らなかったですけど、先ほどの日程でもう一度出していただいて、またその部分を取りまとめさせていただきますので、開催日が決まりましたら、別途、ご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。それでは、閉会のほうに入らせていただきます。副委員長、よろしくお願いいたします。
副委員長	6. 閉 会

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。